

「日頃の教育に対する工夫、及び今後の教育への抱負」

機械・システム工学科

機械工学コース 岡田将人

令和4年度の機械工学コースの優秀教員に選出いただきました。本制度に御協力いただいた学生の皆さん、教職員の皆様に御礼申し上げます。本制度の有無に関わらず、学生の皆さんが「今日も昨日より成長できた」毎日となるように、自身なりに教育に対して取り組んできました。ただ時折、他の先生方が講義されている教室横を通りかかると、内容を平易に咀嚼し、抑揚・緩急を意識した話し方で進められているのを垣間見ることがあり、自身が選出されるのは遠い未来(ない?) だろうな…と覚悟しておりました。思いがけないタイミングでの選出で、心底嬉しい反面、上記の通りの心境のため、何が良かったのか、これから自身の中で分析が必要な状況です。それを踏まえた上で、「日頃の工夫」と「今後の抱負」をご覧くださいましたら幸いです。

【日頃の教育に対する工夫】

- **「教員とコミュニケーションが取れる授業だった／教員との距離感がよかった」** 今年度の授業アンケートで寄せていただいたコメントです。この科目(座学)では、その回で取り扱った内容の小課題を課し、併せて自由記述欄を設けています。講義を担当するのも御縁…教員が学生の皆さんとのつながりを大切に思っていることを認識いただくことを意図した欄です。例年、学期前半は記載が少ないですが、回を重ねるごとに、質問、要望、誤字指摘、趣味嗜好、徐々にコメントを寄せてくれます。必ずそれら全てに対して、次の講義開始時に投稿者を伏せて披露・解説しています(コメント開示は予告済)。この自由記述欄でのやりとりが、学生の皆さんとの信頼関係を構築する一因となっているのであれば幸いです。
- **「動画や資料がわかりやすかった」** これも授業アンケートに対するコメントです。座学の科目では、授業内容に係る製品・時事に関する動画や資料を多用することで「なぜ学ぶ必要があるのか・どのように役立つのか」を受講生が意識できるよう心掛けています。座学以外の演習科目でも、「作った・楽しかった」だけで終わらぬよう、そこからどのような成長が得られるのかを定期的に文字と言葉で伝えるように心掛けています。これにより教科書を読むだけ・単に作業しただけでは得られない「教員がいるからこそこの授業」を目指しています。
- **「先生が授業で、やけに楽しそうに話してたから、この研究室を希望しました」** 過去に私の研究室に所属した学生さんの志望動機です。教員が楽しんでいる姿を、そのまま見ていただくのが、最も大切なのかもしれません。この点だけは私の得意分野だと思っています(なんとなく、この点だけで選出されたような気もしています…)

【今後の教育への抱負】

改めて工夫点をおさらいしてみても、どれも月並みなことであり、なぜ選出いただけたのか、引き続き分析を要します(3つ目の要因だけでない分析結果を祈るばかりです)。機械工学コースでは昨年度、コース内でオンデマンド授業の講義資料を活用した「教員同士のオンライン授業参観」を実施しました。詳細は割愛しますが、教員同士が講義手法について切磋琢磨できる機会が得られたことは非常に貴重でありました。今後もこのような機会を活用して、自身の強み・弱みを認識し、「私だからこそできる教育とは何か?」を問い続けていきます。